

モニタリング結果報告書

施設名 : 相模原公園

指定管理者 : (公財) 神奈川県公園協会 (株) サカタのタネ グループ

施設所管課 (事務所名) : 厚木土木事務所 津久井治水センター

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況 (1～9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考 (確認事項等)
4月	5月10日	5月17日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
5月	6月10日	6月20日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
6月	7月11日	7月19日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
7月	8月10日	8月16日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
8月	9月12日	9月21日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
9月	10月11日	10月18日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- 花修景エリアの季節感ある演出と都市緑化植物園ならではの花と緑を色彩豊かに演出し、また近隣施設や関係機関と連携を取りながら利用増を図る。
- ① 季節に応じた花の修景計画に基づき、公園内でどの季節にも楽しめる花の植栽を実施。
 - ② 花とみどりや自然のふれあいの場づくりとしての提案と実施。
 - ③ 特色ある公園との交流を行い、地域文化などの情報交換と広域的な公園間の広報を実施。
 - ④ 近隣施設との交流 (近隣7施設公園だよりの発行) やスタンプラリーによる施設めぐりの実施に加え、女子美術大学の学生との協働事業により子どもたち楽しんで環境や植物への関心を持てる参加型の事業を実施。
 - ⑤ 近隣施設である女子美術大学との協働イベントとして、「夏休み子ども大会」「食虫植物展」を実施し、真夏の閑散期の集客を図る。

(継続用紙)

<実施状況>

① 指定管理者サカタのタネオリジナル品種「サンパチェンス」は夏の季節を彩る色彩豊かな花であるだけでなく、排出されたCO2の高吸収がのぞめる花であるため、景観と環境配慮の観点から噴水広場～グリーンハウス内に修景よく配置、植栽を行い、花の美しさだけでなく、その花の持つ環境的特性を一般に広める手段として、「サンパチェンスフォトコンテスト」を計画し、実施のための要綱とシスの植栽地を示す案内図を園内掲示板に掲示し募集を告知した。

また、サンパチェンスによるウエルカムガーデンを設置し、環境にやさしい植物であることから環境保護に対する普及啓発を行った。

②野菜と花のコラボレーション花壇として、「実咲ガーデン」を提案し、緑の街の一角にサンプルガーデンとして設置した。サカタのタネの品種で夏野菜の栽培を、ガーデニングとしても楽しむ方法のひとつとして設置した。

芝生広場森の木展望台の遊具のリニューアルに合わせ、「みどりのとんねる」を設置。ゴーヤ、アサガオ、キュウリ、クレマチス、ヘチマなどの植物をトンネル状に生育させ、遊具広場を利用する子ども連れを中心に、遊びながら植物に触れたり、遊んだりする場の提供を行いながら、植物の持つ環境にやさしい取り組みとしてその普及啓発を行った。

③特色ある公園間の交流として、「海と山と丘の公園交流事業」を実施。海は横浜市みなとみらい地区の「日本丸メモリアルパーク」、山は長野県安曇野市の「国営アルプスあづみ野公園」、丘は「相模原公園」。常時それぞれの公園のパンフレットやイベントポスターの掲示をしながら広報を実施。また、大きなイベントや特色あるイベント時には、現地に広報ブースを設け、公園の紹介を実施した。

④相模原公園近隣にある公共施設6施設と合同で公園だよりの発行し、5月6月のレジャーシーズンに合わせてその施設を巡るスタンプラリーを実施し、各施設の利用者を広域的に利用してもらうようなイベントとして実施した。

⑤公園全体を使ったクイズラリーや食虫植物をモチーフにしたペーパークラフト、またグリーンハウス内の解説展示は、子どもたちも目線で作成され、分かりやすく子どもたちが夏休みの自由研究にも役立つ形で実施できた。

8月7日(日) 夏休み子ども大会 2,500名

8月2日～8月28日 食虫植物展 入館者数 3,769名

<提案内容の概要>

①代表的な相模原公園の事業の広報ツールとして、公共交通機関(路線バス)や相模原市へのポスター掲示を行い利用者増を図る。

②公園内の修景をより楽しんでもらうために景観に配慮した形で花名札、警告札を設置。

<実施状況>

①公園周辺沿線の路線バス神奈川中央交通(株)へ依頼し、バス内ポスター掲示ができるようになった。また、相模原市南区役所広報コーナーへの掲示が可能となった。

②相模原公園のキャラクターである「リリちゃん」をモチーフにして、それぞれの花に花名札をつけ、利用者にタイムリーな紹介をした。

園路等に放置された犬のフンについて、落とされた日時等を記した小さな記録札(警告札)をキャラクターを配したかわいい形式でその場所に立て、犬連れの利用者へ、ルール遵守の啓発を実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額						
今期	236,400	221,000	5,700	9,700	236,400	0
前期	236,200	221,000	5,600	9,600	236,200	0
上(下)半期						
予算額	124,417	116,297	3,220	4,900	124,417	0
4月	15,597	14,486	93	1018	14,011	1,586
5月	25,602	23,488	752	1362	25,362	240
6月	23,055	21,927	319	809	24,637	△ 1,582
7月	22,200	22,061	139	0	21,078	1,122
8月	16,654	16,392	262	0	16,318	336
9月	18,888	17,943	221	724	18,658	230
今年度						
半期計	121,996	116,297	1,786	3,913	120,064	1,932
前年度						
同期計	124,747	118,118	2,188	4,441	122,065	2,682

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	409,500円	スピーカー交換（409,500円）
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	62,639人	55,072人	13.7%
5月	103,500人	110,681人	△6.5%
6月	87,203人	104,118人	△16.2%
7月	32,107人	37,516人	△14.4%
8月	47,406人	39,361人	20.4%
9月	42,155人	29,649人	42.2%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	375,010人	376,397人		△0.4%
今年度下半期計					

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>
 ①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5月	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
6月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
7月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
8月	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
9月	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合計	4 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・犬と遊べるエリアでの、放し飼いについての苦情	放送設備を使って定期的にリード装着やマナーを守るよう放送。 常習的にノーリードでの利用者がいるため、その場合は直接ルールを守るように注意、呼びかけを行う。

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の震災の影響でサカタのタネグリーンハウスを4月後半まで休館したことは入館者数に大きな影響を与えた。しかし、再オープンまでに点検等を繰り返し、安全が確保できた状態で開館したため、安心して入館者を迎えられた。 ・8月、9月のまだ残暑が厳しい季節だが、新たに設置された遊具施設やグリーンハウス内での新たな試みが功を奏したのか、前年より多くのお客様に利用していただいた。また、9月の台風15号に対しては、気象情報を見ながら対策をとり、台風通過後も迅速な対応を図り、倒木等の被害は大きかったが、台風による人的被害は皆無であった。
施設所管課	<p>今期は、東日本大震災に伴う夏期の電力不足への対応、9月には台風15号の強風による倒木被害への対応など、通常とは異なる事態に見舞われたが的確に対処された。特に地震により施設に被害のあったグリーンハウスについて安全管理を的確に行った上で再オープンしたことは評価できる。</p> <p>台風15号による倒木も多数あったが、速やかに対処がなされ、今後の維持管理においても努力を続けていただきたい。</p>